

# フォトシティさがみはら

これは、市民が写真文化により親めるよう実行委員会が編集・発行しています。



相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら実行委員会  
事務局：相模原市文化振興課 TEL 042-769-8202

## カメラ少女 はいち、サンは かくて 20歳の春・写真個展に挑む

「子どもって何を見ても感動するでしょ。その感動が写真に残るのが楽しくて」とはいち、さんこと川内陽菜さん（市内中央区在住）がたまたま家にあったビデオカメラで写真を撮り始めたのは「小学校4年生ころには撮ってた気がします」と記憶を掘り起こせないほど幼くから。転機となったのはフォトシティさがみはらアマチュアの部に応募して2年目となる2016年、小学6年生でジュニア賞を受賞したことでした。お父さんがそんなに真剣に撮るならとカメラを買ってくださったのです。さらに、近所のイオンで開いていた〈デジカメ入門教室〉にお母さんが

教室には4年程通い、カメラの持ち方や使い方、絞りやシャッタースピード等を学び、年間6万枚、少ない日でも1日に100枚は撮影するカメラ少女が誕生することになりました。フォトシティさがみはらでも2018年、2019年、2022年と連続で入賞を果たしています。

そんな陽菜さんがはいち、と名乗り4月に写真展をやることになりました。題して「Question?」展。色覚過敏の彼女が、脳髄が揺れるような思いがしたとき撮影した写真を「何が?」「何故?」と疑問と興味をもって写真を楽しんでもらいたいから、と。個展を開催するのは2度目になります。高校生のうちに1回個展をしたいと思い一昨年に実現。2回目となる写真展は会期中に20歳の誕生日を迎えること



バイトに行くとき以外はいつもカメラとともにある  
出で立ちの川内陽菜さん。喫茶ナチュラル前で。  
(2024.1.24 撮影・萩原義弘)

になります。そんな人生の節目を迎えての記念開催です。写真と出会った彼女はフォトシティという事業にきっかけをもらい、まちの教室で手ほどきを受け、同じまちにあるカフェを拠点として写真仲間や発表機会を得ました。このまちに暮らしてたからこそその環境かも。ちなみに撮影名は「はいち、は「はいチーズ!」から。なんとなく前向きな陽菜さんらしさを感じます。



会場:喫茶ナチュラル  
2024.4.9(Tue)-4.20(Sat)

▲『Question?』の作品のなかの1枚 ご案内：2024.4.9(Tue)-4.20(Sat)※日・月休み 11:00～21:00 『Question?』 haichi photo-exhibition 会場：喫茶ナチュラル

## はいちさんの個展会場は古淵駅近く 写真文化をになう市民の拠点だった!

1984年開店のギャラリーのある半地下カフェ

### 喫茶ナチュラル

定休日：日・月 ☎252-0344  
相模原市南区古淵 2-3-33  
(イオン古淵店すぐ裏)  
TEL 042-756-4919



半地下独特の柔らかな日差しの差し込む店内は、アンティークカメラの飾られたギャラリーがあるだけでなく、店長さん含め写真好きのスタッフとお客さんの有志による相模原・町田地域の写真愛好家グループ〈なちゅフォト〉さんの拠点です。メンバーは40人前後。10代から70

代までの幅広い年代の方が写真歴も初心者からベテランプロの方までいろいろ。展示会や撮影会だけでなくブログ <https://nachufoto.exblog.jp/> やインスタも。ぜひのぞいてみてください!



<https://natural1984.com>

ナチュラルな趣きのある店舗入り口▲